

<p style="text-align: center;">特定非営利活動法人 赤煉瓦倶楽部舞鶴</p>		<p style="text-align: center;">NPO法人 赤煉瓦倶楽部舞鶴 会報</p>	
		<p style="text-align: center;">発行人/理事長 馬場 英男</p>	
<p style="text-align: center;">会報 101号 平成29年8月1日</p>		<p style="text-align: center;">(連絡先) 〒625-0062 京都府舞鶴市森 875-2</p>	
		<p style="text-align: center;">TEL/090-3281-7539 FAX/0773-63-9764</p>	
		<p style="text-align: center;">E-mail brick@iris.eonet.ne.jp</p>	
<p>「NPO法人赤煉瓦倶楽部舞鶴」ホームページ http://www.redbrick.jp/</p>			
<p>フェイスブックページ https://www.facebook.com/赤煉瓦倶楽部舞鶴-1575484726053495/?fref=ts</p>			

目次

1 平成29年度通常総会 報告・計画・役員選任 事務局	4 旧奈良監獄見学会に参加して 馬場英男
2 「第7回近代化遺産視察会」報告 事務局	5 その他・平成29年度会費納入について・編集後記ほか 事務局
3 連載『我が国の近代土木遺産』番外編 こいけりかさん	

1. 平成29年度通常総会 報告

事務局

平成29年6月11日、平成29年度特定非営利活動（NPO）法人赤煉瓦倶楽部舞鶴の通常総会を開催しました。

以下、5議案を審議し全員異議なく承認されました。その概要を報告します。

第1号議案 平成28年度事業報告（会報で主な事業は報告済みのため省略します）

第2号議案 平成28年度決算報告 以下の通りです。

収入の部

科目	金額(円)	備考
1 会費収入	117,000	会員(個人51名、法人1団体)
2 事業収入	479,090	サマーイルミネーション、市内見学・市外視察会費ほか
3 補助金収入	540,000	ジヤズ祭20年のあゆみ冊子発行記念事業
4 寄付金等収入	366,552	寄付金
5 雑収入	5,219	受取利息ほか
当期収入合計(A)	1,497,861	
前期繰越正味財産額	1,879,500	
収入合計(B)	3,377,361	

支出の部

科目	金額(円)	備考
1 事業費	1,259,768	市内・市外見学会費用、ジヤズ冊子印刷代ほか
2 管理費	729,762	旅費交通費、会報印刷費、通信運搬費ほか
3 法人税・住民税及び事業税	0	
—	—	—
当期支出合計(C)	1,989,530	
当期支出差額(A)-(C)	-491,669	
次期繰越正味財産額(B)-(C)	1,387,831	

第3号議案 平成29年度事業計画

平成29年度も引き続き、法人の目的を達成するため、まちづくりの推進を図る事業及び学術、文化、芸術を図る活動を行うこととし、主に以下の事業を実施する事としました。

- ① 市内赤煉瓦建造物の見学会(未定) ② 市外の近代化産業遺産視察旅行(視察先は、淡路島)7月2日(日)実施、今号で報告。
- ③ 旧丸山小学校保存再生プロジェクト ④ 赤煉瓦ネットワーク教賀大会(11月4~5日)参加
- ⑤その他 廿日の市等イベントに参加し募金・PR活動

第4号議案 平成29年度事業会計予算

収入の部

科目	金額(円)	備考
1 会費収入	121,000	入会3名、個人(会員54名、法人1団体)
2 事業収入	477,600	市内見学・市外視察会費、冊子販売ほか
3 寄付金等収入	40,000	募金、寄付金
4 雑収入	1,123	受取利息
当期収入合計(A)	639,723	
前期繰越正味財産額	1,387,831	
収入合計(B)	2,027,554	

支出の部

科目	金額	備考
1 事業費	338,924	市内見学、大阪市視察旅行、サマーイルミネーション事業
2 管理費	551,106	旅費交通費、会報印刷費、通信運搬費ほか
3 法人税・住民税	0	
—	—	—
当期支出合計(C)	890,030	
当期支出差額	-250,307	(A)-(C)
次期繰越正味財産額	1,137,524	(B)-(C)

第5号議案 役員の変更について

以下の通り、役員改選を行い新役員が選任されました。なお、総会は、正会員52名の内出席者7名、委任状38名で、正会員の3分の1を上回っており成立しています。新役員で今後2年間、法人設立の目的（赤煉瓦を活かしたまちづくりの推進・支援等）を達成するための活動を行いますので、会員皆様のご支援ご協力をお願いします。

◇平成29-30年度法人役員名簿

理事：石原雅章、馬場英男、梅本徳夫、世良孝、鷺田龍作、日向進、吉岡博之、川崎修洋、小野章、隅垣とし子、嵯峨根八郎〔11名留任〕。森真理子〔退任〕 監事：森口等史、大滝雄介〔2名留任〕

◇理事長及び副理事長の選任 6月17日に新理事による理事会を開催し、定款14号の規定に基づき、理事長及び副理事長を互選し、下記のとおり選任しました。

◆理事長：馬場英男 ◆副理事長：日向進、梅本徳夫

2. 「由良要塞・由良地区を訪ねて」 第7回近代化遺産視察会報告 事務局

さる7月2日（日）当法人主催で視察会を実施した。今回は日陸軍が建設した由良要塞の内、淡路島の洲本市由良地区の要塞の視察である。由良要塞とは、紀伊水道を通過し大阪湾に至る狭い海峡（紀淡海峡）に設置された多数の砲台の総称である。明治22年に建設が始まり、鳴門海峡に築かれた鳴門要塞も明治36年に由良要塞に併合し、東京湾要塞・下関要塞とならび1等要塞に指定されたものである。煉瓦遺構に興味湧く。

参加者は27名で内会員は9名。早朝7時舞鶴をマイクロバスで出発、世界最長の吊り橋長さ1,991m、高さ283mの「明石海峡大橋」を渡ると淡路島、まず、22年前（1995.1.17）に発生した阪神大震災の野島断層保存館を見学、6,434名もの尊い命を失ったマグニチュード7.3の破壊力を思い起こす機会に。一角に神戸の壁が移築され永久保存されているが、移転の際に、壁に隠れ文字が発見されたと説明版にある。1927年建設当時、左官が書いたと思われるが市場の繁栄を祈った「西や東 モタレカケテ 南クル人 北ガル」。



神戸の壁

次に、国営明石海峡公園・淡路夢舞台、2000年に開催された国際園芸・造園博「ジャパンフローラ2000」の会場として、建築家・安藤忠雄氏が設計監理したことで知られている。園内のレストラン「きとら」で昼食を摂り、目的地の由良要塞に向かう。



安藤忠雄氏設計

生石（おいし）公園として整備されているが、第一駐車場までマイクロバスで向かうが、木の枝をこすりながらの狭い道路を経て到着、頂上付近に第二駐車場があるが、ここから歩くことにした。駐車場にはトイレが整備されており、生石岬展望台から成ヶ島を望める。ガイドマップを事前に手に入れ、第五砲台・第三砲台・生石海次に訪ねたのは、洲本市内の「日鐘紡洲本工場」跡に残されて煉瓦建物をリノベーションし、図書館・淡路ごちそう館（御食国）・

峡展望台・第二砲台・出石神社・第一砲台・紀望台・生石山保塁跡とめぐり猛暑のなか見学、帰路は車道を下り駐車場に。見学通路は木製階段、手摺等整備されている。砲台跡施設に立ち入らないよう金網フェンスで囲われて、煉瓦に触れることは出来ない。案内板は整備されており、舞鶴の多くの砲台跡の整備の参考となる。舞鶴の場合、槇山、葦谷砲台が観光には最適と思われるが、道路整備が課題である。重要文化財指定されているにも関わらず、道路標示、説明版等不備であるのが現状。実にもったいないとの声が多かった。



生石海峡展望台にて



見学通路・木製階段整備



第一砲台跡（見学テラスより）

アルチザンスクエアなどに活用。確か三回目の訪問となるが、ギャラリーとして活用していた旧原綿倉庫が閉鎖されたほか、隣接する

空き地に大きな商業施設が建てられ、病院や公共施設が集中したよ
うで、風景が一変した感があった。

盛りだくさんの内容の視察を終え帰路についた。昼食に付いた太
モズクの味が忘れられない。舞鶴の砲台跡の観光整備が急がれる。

3. 連載「我が国の近代土木遺産」 ～ドボクイサン重箱の隅・番外編～

こいけりか (特別会員 NO. 87、(株)奄美群島環境文化総合研究所代表取締役)

今回は番外編として、鹿児島県の奄美大島の赤煉瓦について書い
てみたい。3月に奄美群島国立公園になった南の島と赤煉瓦の組み
合わせは、やや意外性もあるが奄美大島には赤煉瓦が残っている。

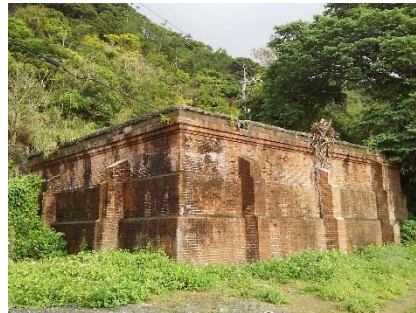
奄美大島は南西諸島の北部、奄美群島に位置し、沖縄本島、佐渡
島に次ぐ面積(712.4 km²)である。主産業はサトウキビ栽培の農業
だが、タンカンやパッションフルーツ等の果樹栽培、仔牛の飼育を
中心とする畜産も盛んである。そんな奄美大島の赤煉瓦はサトウキ
ビを原料とする砂洲糖に関するものが近年の発掘調査で発見されて
いる。奄美大島の黒糖は、江戸期に薩摩藩の財源となっていたが、
文久3～慶応元(1863～65)の幕末、島内4箇所では白糖工場が建設さ
れた。事業を請け負ったのはトーマス・B・グラバーであり、工場
建設は後に大阪の泉布観や銀座煉瓦街の建設で知られるウォート

ルスと製糖技師のマッキンタイラーが関わっている。

発掘調査で遺構が確認された白糖工場は、島の南部の瀬戸内町久
慈集落に慶応2(1866)に建設され、明治4(1871)年に廃止された。
出土した煉瓦は、現在のものより大振り(255×129×80mm程度)で
両面が片面に窪みがある。COMENと型押しされた耐火煉瓦も出土し
たが、遺構は調査後に埋め戻され、出土した煉瓦以外は見られない。
一方、同集落の沿岸部には、「旧佐世保海軍軍需部大島司庫 貯水
庫」の赤煉瓦が残る。これは奄美大島の軍事施設建設初期のもで、
建設年は明治24(1891)年頃、貯水容量は360t程度でイギリス積煉
瓦造だ。近くの山中の滝に取水口と瀧過池も確認され、その水は農
業用水として利用されている。水槽の隣に石炭貯蔵庫もあったとい
われているが現存しない。



画像①白糖工場の窪みのある煉瓦



画像②煉瓦造の貯水庫の全景



画像③貯水庫の側壁上部の煉瓦

大島海峡は水深のある良港だが、日露戦争後から軍事的な要衝と
なり、現在も多くの戦跡を見ることができる。大島要塞司令部が大
正12(1923)年に置かれ、昭和19(1944)年に開庁している。大島海
峡の対岸の加計呂麻島は、昭和16(1941)年、海軍奄美大島防備隊
が置かれ特攻艇震洋の艇庫をはじめ、砲台や要塞、弾薬庫、兵舎等

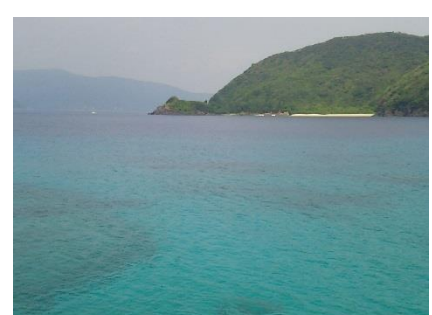
の他、海軍艦船の給水用ダムも現存している。奄美大島も加計呂麻
島もハブの生息地であるため、ひとりで丑闌に山中に入ることはお
勧めできないが、加計呂麻島を中心に戦跡を巡るガイドツアーがあ
るので、ガイドの説明付きで安全に見ていただきたい。



画像④海軍の艦船給水用ダムの堤体



画像⑤内部が2重構造の弾薬庫入口



画像⑥戦跡のある加計呂麻島の海

4. 旧奈良監獄(奈良少年刑務所) 見学会に参加して

馬場英男(会員 NO. 8)

一昨年の当法人主催の視察会では外部見学会に終わったが、今回、
明治41年竣工・旧奈良監獄(奈良少年刑務所)の赤煉瓦堀内の見学
が叶った。ホテル等に改修することが計画されているが、工事前最
後の見学会が開催される事を知り急遽計画された。小生も他の用向
きをキャンセルしての参加である。山下洋輔さんを会長に据え保存
活動を仕掛けた「奈良少年刑務所を宝に思う会」(2014.10.18 設立)
に祝意を表す。奈良を含め明治五大監獄の設計者山下啓次郎の孫

のジャズピアニスト山下洋輔さん、刑務所で先進的更正教育に尽力
した作家の寮美千子さん、保存に向けた情報発信に努めた「ならま
ち通信社」の松永洋介さんから赤煉瓦ネットワークに保存への協
力・支援依頼を受けてから、あっという間の急展開に驚いている。

また、2016.9.19の舞鶴赤れんがが4号棟での山下洋輔ライブで曲
間の洋輔さんのコメントで、会場で同時開催の奈良少年刑務所写真
展への謝意と刑務所の保存がようやく叶いそうだとの弾んだ報告

が耳に残る。洋輔さんと再会した際に喜び合いたいものだ。
さて、見学会当日は、炎天下約2時間の行列を凌ぎ入門、こった

返す来場者をかき分けての見学であった。約1万人と報道された。
以下、写真で報告する。



炎天下約2時間待ちの行列(運動場から)



やっと、入門



表門をバックに



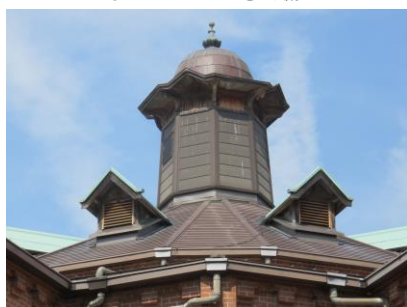
庁舎をバックに記念撮影



二階中央監視所付近(一階も監視可能)



独居房内部



中央監視所の塔



医務所の屋根



刑務所四隅の円形赤煉瓦塀・実に高い

5. その他 平成29年度会員会費納入について、編集後記 ほか 事務局

1 平成29年度会費納入について

同封の郵便振替用紙にて8月末日までに お振込みください。なお、会費未納の場合、退会とさせていただきます。

2 赤煉瓦ネットワーク敦賀大会への参加募集

既にお知らせのとおり、本年11月4日・5日に福井県敦賀市に置いて大会が予定されています。当倶楽部からも参加を予定しています。つきましては、大会への参加希望者は、9月中旬に事務局までお知らせください。

3 編集後記

会報101号を発行する運びとなりました。平成3年6月1日に任意団体「赤煉瓦倶楽部・舞鶴」発足、平成12年8月9日NPO法人認証、赤煉瓦ジャズ祭、赤煉瓦ネットワーク活動、赤煉瓦施設指定管理受託等地道に活動を継続し、26年が経過しました。会の目的とした赤煉瓦を活かしたまちづくりも平成24年5月オープンの「舞鶴赤れんがパーク」のグランドオープンで一区切りついた感じです。今後は、舞鶴に残る砲台跡等の文化遺産の保存活用に対する調査・提案、全国の赤煉瓦ネットワークの運営・支援に取り組んで参ります。会員の皆様の更なるご支援・ご協力をお願いします。(H.B)

会 員 資 格： 会費納入者(特別会員は除く)。入会金1,000円、年会費(個人2,000円、法人10,000円)。
なお、会員申込用紙は、ホームページからダウンロードできます。ご寄附も受け付けます。
会費・寄付金等 振込先： ゆうちょ銀行 口座番号 (01010-6-21476) 加入者名：赤煉瓦倶楽部舞鶴

